

公益財団法人東京都交響楽団(東京都台東区/理事長:近藤誠一)は、2020年度の活動について、下記のとおり発表します。

- ①2020年度楽季ラインナップ発表
- ②2020年ヨーロッパツアーについて

① 2020年度楽季ラインナップ発表

2020年度は、東京都交響楽団(都響)の創立55周年であるとともに、戦後75年、ベートーヴェン生誕250年、そして何より2度目の東京オリンピック・パラリンピック開催という記念すべき1年です。この機会を捉えたシーズンとして、プログラム全体に「セレブレーション2020－祈りの音楽・希望の音楽」というテーマを設けました。

音楽監督 大野和士によるメンデルスゾーン《讃歌》、マーラー《復活》、ターネジ委嘱新作、首席客演指揮者 アラン・ギルバートによるモーツァルト三大交響曲などが「祝祭」を響かせる一方、終身名誉指揮者 小泉和裕によるオネゲル《典礼風》、桂冠指揮者 エリアフ・インバルによる《バービィ・ヤール》をはじめ、三善晃「反戦三部作」などが「祈り」を表現。また、未来への「希望」という意味を含め、ニールセン《不滅》やエルガーとブラームスの第1交響曲といった作品はもちろん、3シーズンぶりに登場するヤクブ・フルシャ、2018年に都響で日本デビューを飾ったクラウス・マケラ、定期初登場の山田和樹、都響デビューとなる鈴木優人ら、次代を担う才能たちとの共演も数多く組まれています。

さらに、各シリーズを横断しながら、7人の指揮者のもとベートーヴェンの交響曲全9曲を演奏するという、2020年ならではの企画も盛り込みました。

次ページならびに添付の速報版パンフレット、都響ホームページの各公演詳細ページの「聴きどころ」もご参照いただき、2020年度も都響のコンサートを広くご紹介くださいますようお願い申し上げます。

音楽監督 大野和士コメント「2020年度楽季プログラムについて」

<https://www.tmso.or.jp/j/news/7116/>

東京都交響楽団 2020年度楽季プログラム

【シーズンテーマ】

セレブレーション2020－祈りの音楽・希望の音楽

～都響創立55周年／戦後75年／ベートーヴェン生誕250年～

◆都響創立55周年－セレブレーション2020

- ◎4/3 定期B「第900回」(大野和士) メンデルスゾーン:交響曲第2番《讃歌》
- ◎2/20 定期B・2/22 定期A(大野和士) マーラー:交響曲第2番《復活》
- ◎7/20 定期A(大野和士) マーク＝アンソニー・ターネジの新作《タイム・フライズ Time Flies》世界初演。
 この曲は都響、BBC響、NDRエルプフィル共同委嘱作品で、それぞれの都市(東京、ロンドン、ハンブルク)をイメージした3つの楽章から成り、第3楽章は、東京オリンピック・パラリンピックを祝し、開会直前に相応しい内容となる予定です。
- ◎7/20 定期A(大野和士) 藤倉 大:三味線協奏曲
 国際的な活躍の人気作曲家・藤倉大による邦楽器の協奏曲で、日本のクリエイティビティを世界に発信します。
- ◎7/30 定期C・7/31 定期B(ギルバート) モーツァルト三大交響曲(第39番、第40番、第41番《ジュピター》)
 東京オリンピック・パラリンピック期間中に贈る、人類共通の音楽遺産(レガシー)。
- ◎9/16 定期B(大野和士) 矢部達哉:都響コンサートマスター30周年記念
 ベートーヴェン 三重協奏曲(w/小山実稚恵 Pf、宮田大 Vc)、《英雄》(矢部コンマス)

◆戦後75年・祈りの音楽 …第2次世界大戦が題材・契機となった作品

- ◎4/20 定期C・4/21 定期A(マケラ) ショスタコーヴィチ 交響曲第7番《レニングラード》
- ◎5/8 定期A(山田和樹) 三善 晃「反戦三部作」=《レクイエム》《詩篇》《響紋》
- ◎10/12 定期B(小泉和裕) オネゲル 交響曲第3番《典礼風》
- ◎12/15 定期C(フルシャ) ブリテン ヴァイオリン協奏曲
- ◎1/12 定期A・1/13 定期B(インバル) ショスタコーヴィチ交響曲第13番《バービー・ヤール》

◆ベートーヴェン生誕250年

- ◎2020年度シーズンを通してベートーヴェンの交響曲全9曲を7人の指揮者で。
- | | |
|----------|--|
| 第1番 | 小泉和裕[都響終身名誉指揮者] (5/17 定期C) |
| 第2番 | ダニエーレ・ルスティオーニ (7/12 プロムナード) |
| 第3番《英雄》 | 大野和士[都響音楽監督] (9/16 定期B) |
| 第4番 | トーマス・ダウスゴー (10/4 定期C) |
| 第5番《運命》 | 小泉和裕[都響終身名誉指揮者] (12/17 定期A) |
| 第6番《田園》 | エリアフ・インバル[都響桂冠指揮者] (1/19 定期C) |
| 第7番 | エリアフ・インバル[都響桂冠指揮者] (1/19 定期C) |
| 第8番 | サツシャ・ゲッツェル (2/11 プロムナード) |
| 第9番《合唱付》 | アラン・ギルバート[都響首席客演指揮者] (12/24,25,26 都響スペシャル) |

東京都交響楽団 2020年度楽季プログラム
セレブレーション 2020－祈りの音楽・希望の音楽
～都響創立 55 周年／戦後 75 年／ベートーヴェン生誕 250 年～

◆希望の音楽

◎次代を担う指揮者たち：

ヤクブ・フルチャ(12/5 定期 C・12/10 定期 B) ※2010年4月～2018年3月都響首席客演指揮者を務めた。

ダニエーレ・ルスティオーニ(7/12 プロムナード)

山田和樹(5/8 定期 A) ※定期演奏会初登場

クラウス・マケラ(4/20 定期 C・4/21 定期 A)

サツシャ・ゲッツェル(2/11 プロムナード) ※初共演

鈴木優人(3/20 プロムナード) ※初共演

◎ニールセン：交響曲第 4 番《不滅》 10/4 定期 C(ダウスゴー)

◎マーラー：交響曲第 2 番《復活》 2/20 定期 B・2/22 定期 A(大野和士)

◎武満 徹：《系図(Family Tree)》 3/15 定期 B(尾高忠明)

◎エルガー：交響曲第 1 番 3/15 定期 B(尾高忠明)

◎ブラームス：交響曲第 1 番 3/25 定期 A(メルクル指揮)

◆さらに…

◎人気のベテラン指揮者オスモ・ヴァンスカとの初共演(11/11 定期 A、11/15 定期 C)

◎尾高忠明、28年ぶりの都響定期演奏会登場(3/15 定期 B)

◎合唱団との共演の充実：

二期会合唱団(4/3 定期 B) メンデルスゾーン：交響曲第 2 番《讃歌》

(12/24,25,26 都響スペシャル「第九」) ベートーヴェン：交響曲第 9 番《合唱付》

東京混声合唱団+武蔵野音楽大学(5/8 定期 A) 三善 晃：《レクイエム》《詩篇》

東京少年少女合唱隊(5/8 定期 A) 三善 晃：《響紋》

新国立劇場合唱団(2/20,22 定期 BA) マーラー：交響曲第 2 番《復活》

ヘルシンキ大学男声合唱団(1/12,13 定期 AB) ショスタコーヴィチ：交響曲第 13 番《バービー・ヤール》

◎多彩なソリスト

★世界で活躍するアーティストたち

ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)、ジャン＝エフラム・バヴゼ(ピアノ)、小山実稚恵(ピアノ)、

五明佳廉(ヴァイオリン)、ネマニャ・ラドウロヴィチ(ヴァイオリン)、宮田 大(チェロ)、

中村恵理(ソプラノ)、藤村実穂子(メゾソプラノ)

★若い世代も続々出演

藤田真央(ピアノ)、阪田知樹(ピアノ)、本條秀慈郎(三味線)、アリーナ・ポゴストキーナ(ヴァイオリン)、

ベンジャミン・バイルマン(ヴァイオリン)、砂川涼子(ソプラノ)、山下 裕賀^{ひろが}(メゾソプラノ)、宮里直樹(テノール)、

ニコライ・ゼレンコフ(バリトン)

添付の速報版パンフレット、また都響ホームページの各公演詳細ページの「聴きどころ」もご参照いただき、
2020年度も都響のコンサートを広くご紹介させていただきますようお願い申し上げます。

② 2020年ヨーロッパツアーについて

1964年の東京オリンピック記念文化事業として1965年に創立されたオーケストラである東京都交響楽団(都響)は、ふたたび東京オリンピック・パラリンピックが開催される年に、「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、2020年8月に3都市での公演を行います。

[日程・公演地]

2020年8月7日 オランダ アムステルダム(コンサートヘボウ)

2020年8月9日 スペイン サンタンデル音楽祭(パラシオ・デ・フェスティバレス)

2020年8月12日 英国 エディンバラ国際フェスティバル(アッシャーホール)

[指揮]

大野和士(都響音楽監督)

創立55周年記念事業として、55周年ロゴマークを作成いたしました。2020年度は下記のロゴマークで展開いたします。ご注目ください。

都響 55周年 ロゴマーク



デザイン：SAMURAI (佐藤可士和)